



その ひでこ
園 英子 さん

京都出身。㈱東映京都スタジオ所属。映画、ドラマ、舞台、CMなど多数出演。太秦の東映俳優養成所では児童科の講師を務めている。



花魁道中の園さん。
撮影にも使い捨てカイロは大活躍。
実は園さんが左手を置いた
手のぬくい刃下にはカイロが！

縁の下の かもち

時代劇から現代ドラマまで、

主役を引き立てる役柄にこそ求められるプロの力量

『水戸黄門』『大岡越前』

……誰もが知る数々の時代劇に出演してきた女優、園英子さん。大川橋蔵の『銭形平次』でデビューを果たして以来、東映の俳優として続けてきた。最近では、『科捜研の女』や『相棒』などにも出演。

「冬場のドラマ撮影は見た目以上にハードです。特に花魁の衣装は襟足が深くまで開き、素足に下駄。寒さとの戦いです」。

そんな園さんにとって、寒い季節の必需品は「使い捨てカイロ」。

「デビューしたばかりのころは「貼るカイロ」なんてありません。これが登場した時は本当に嬉しかったです。出

演直前まで下駄の上においたり、着物の下に貼ったり。自分でたくさん用意して、寒い

京都の冬を乗り越えました。主役を引き立てる脇役こそ「プロの名役者でなければ

ならない」と、常に努力を欠かさない。

太秦では、将来を担う子役の指導にもあたる。「教える素養を身につけたい」と数年前から大学にも通い始めた。役柄の身分や時代背景で異なる所作、言葉づかいなど、しっかりと伝えていきたい。

華やかな場面の陰に、並々ならぬ努力がある。どんな役柄であれ、いつも楽しみながら全力で向き合う姿こそ、京都が誇る縁の下の力もちだ。

私も力もちです

多彩に活躍する園さんと同じく、幅広い製品で、暮らしや産業の様々な分野を支えています。本文にも登場する使い捨てカイロに使用されている「高吸水性樹脂」。三洋化成工業が誇る技術の一つです！

三洋化成工業株式会社
京都市東山区一橋野本町11-1



「はたらき」を化学する。
"Performance" Through Chemistry